

- 問1 日本が隋や唐の国家体制を手本にして、後に整えていった法典に基づく統治のしくみを何という？
- 問2 聖徳太子が役人の心得として、仏教の「仏・法・僧」を敬うことを記した文書を何という？
- 問3 法隆寺が位置しており、飛鳥文化の中心地でもあった現在の都道府県はどこ？
- 問4 天智天皇の死後、大友皇子と大海人皇子の間で跡継ぎをめぐって起こった大規模な内乱を何という？
- 問5 聖徳太子が中心となって栄えた、最初の本格的な仏教文化を何という？
- 問6 中大兄皇子とともに飛鳥時代に権力を握り、天皇中心の政治の実現を阻んでいた豪族を何という？
- 問7 聖徳太子が、中国の隋から進んだ政治制度や文化を学ばせるために派遣した人物は誰？
- 問8 聖徳太子が制定し、役人が従うべき命令を説いた憲法を何という？
- 問9 大津宮で政治を行った天智天皇が作成した、日本で最初の全国的な戸籍を何という？
- 問10 663年、日本が朝鮮半島での拠点を維持するために兵を送り、唐・新羅連合軍と戦った国を何という？
- 問11 大津宮への遷都などを通じて基礎が築かれた、天皇中心の法に基づく国家を何という？
- 問12 壬申の乱で大友皇子と皇位を争った、天智天皇の弟は誰？
- 問13 聖徳太子が、家柄に関係なく才能や功績によって役人を登用するために定めた制度を何という？
- 問14 7世紀前半に栄えた、日本で最初の本格的な仏教文化を何という？
- 問15 飛鳥文化を象徴し、聖徳太子によって建立されたとされる奈良県にある寺院は何？
- 問16 604年に十七条憲法を制定し、役人としての心構えや道徳を説いた人物は誰？
- 問17 十七条憲法において、政治の指針として取り入れられた、インドで生まれ朝鮮半島を経由して伝わった宗教は何？
- 問18 白村江の戦いのあと、日本に亡命してきた人々など、大陸から高い技術をもたらした人々を何という？
- 問19 672年に天智天皇の死後、後継をめぐって起きた内乱を何という？
- 問20 663年に、百済復興を目指した日本軍が唐・新羅の連合軍に大敗した戦いを何という？
- 問21 聖徳太子や蘇我氏が中心となって栄えた、日本で最初の本格的な仏教に基づく文化を何という？
- 問22 唐や新羅からの侵攻に備えて、九州北部の防衛のために配置された兵士を何という？